

金沢大学 新学術創成研究機構 教員公募（女性限定）

1. 公募人員： テニユア・トラック助教1名（女性）
2. 所 属： 新学術創成研究機構 グリーンイノベーション研究コア
炭素循環・エネルギープロセスユニット <https://infiniti.adm.kanazawa-u.ac.jp/>
新学術創成研究機構では、専門分野の異なる研究者が融合し、新しい学問分野・学問領域の創成につながる学際的な研究を推進しています。当ユニットでは、炭素循環およびエネルギー有効活用に関わる研究開発をその基盤としています。
3. 専門分野： 熱流体工学，エネルギー工学，プロセス工学，分離工学を専門とし、「若手主任研究者（若手P I）」として、当研究ユニットの発展に資する基盤研究および融合研究を推進いただきます。また、理工研究域機械工学系のプロセス革新グループ所属教員と協力して、「熱流体，エネルギー，プロセス工学分野に基づいた環境と調和のとれた革新プロセスの創成」に向けた研究展開を期待します。
4. 教育担当： 理工学域機械工学類
大学院新学術創成研究科 博士前期課程 融合科学共同専攻
大学院自然科学研究科 博士前期課程 機械科学専攻
5. 担当科目： 共通教育科目，機械工学分野の専門教育科目（設計製図，実験など）から、テニユアトラック期間中は1～2科目程度の講義や実習などを担当していただきます。なお、英語による授業を担当していただく場合があります。
6. 勤務形態： テニユア・トラック助教（常勤，任期5年）
テニユア付与の可否については、任期満了前の所定の時期に研究・教育実績に関する学内審査を行います。学内審査の結果に応じて、任期満了後に、テニユア准教授への昇任又はテニユア助教への移行が可能です。
テニユア審査において、テニユア・トラック期間を延長することが認められた場合（最長3年間）は、延長後の期間の最終年次に再度審査を実施します。
<https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2022/12/tenure.pdf>
※テニユア付与基準の概略
(1) 国内外で、分野における研究成果が特に優れていると認められること。
(2) 適正に計画された研究計画が達成されていること。
(3) 十分な競争的研究資金を獲得していること。
(4) 学生に対する教育成果（研究指導および講義内容）が優れていると認められること。など
7. 待 遇： 研究経費として年間100万円程度（5年間）を措置する予定
8. 給 与： 年俸制が適用されます。
9. 応募資格： (1) 着任時に博士の学位を有する女性研究者。
(2) 熱流体工学，エネルギー工学，プロセス工学，分離工学など，炭素循環・エネルギープロセスユニットの発展に寄与できる研究分野において優れた研究業績を有する方。
(3) 研究・教育に熱意を有し，産学連携等への積極性があること。

(4) 日本語と英語による十分なコミュニケーション能力を備えていることが望ましい。

(5) 大学内における諸業務を学内教職員と協調して行えること。

※「男女雇用機会均等法」第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための経過措置として女性に限定した公募を実施します。

10. 着任時期： 2027年3月1日以降のできる限り早い時期

11. 提出書類：
- (1) 履歴書（写真添付，郵便番号，現住所，連絡先〔電話番号，メールアドレス〕，高卒以降の学歴，学位，研究歴，職歴，所属学会，賞罰を記入）。
 - (2) 研究業績（学位論文，査読付き研究論文（学術雑誌掲載のもの），研究論文（国際会議プロシーディング，査読有無で分類），総説・解説，著書，特許などに分類し，共著者名，発表機関，巻（号），最初と最後のページ（論文番号），発表年を含めて記載．申請者名に下線を付与．SCI expanded に含まれる雑誌は(*)印を付け，Impact factor を記載）。
 - (3) 学会および社会における活動。
 - (4) 科学研究費補助金，受託研究，共同研究，寄付金，などの外部資金の獲得状況。
 - (5) 教育・研究に対する抱負（A4 用紙，1,000 字程度）。
 - (6) 主要論文の別刷り（5 編程度，電子ファイル）。
 - (7) これまでの研究活動および教育活動とその状況（A4 用紙，1,000 字程度）。
 - (8) 応募者に関して意見を伺える方2名の氏名および連絡先。

＊上記の項目(1)～(5)については，下記 URL に掲載されている「個人調書」に記入の上，応募してください．なお，(6)～(8)は別紙となります（書式任意）。

https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/public_offering

＊上記すべての書類の電子データ（pdf や word ファイル等）を電子メールにより提出してください。

12. 応募締切： 2026年9月30日（水）午後5時（日本時間）必着

13. 選考方法： 第一次審査：書類審査。

第二次審査：面接（プレゼンテーション，英語での模擬授業等）

なお，面接の旅費は自己負担となります。海外居住者に対して，状況によってはオンラインの面接を実施する場合があります。選考及び面接結果については，本人に直接通知します。

14. 書類提出先： 金沢大学 理工研究域 機械工学系 系長 下川智嗣

E-mail: simokawa@se.kanazawa-u.ac.jp

＊すべての書類を電子メールにより提出してください。その際，メールの件名を「＜炭素循環・エネルギープロセスユニット＞教員公募書類」としてください。

＊送信データ総量が10MBを超える場合は，アップローダーを利用してください。アップローダーを利用する場合は，その URL を送信してください。

＊メール送信後，2日経っても受領の返信がない場合は，下記問合せ先にご連絡く

ださい。応募書類は選考終了後に廃棄します。

15. 問合せ先： 〒920-1192 石川県金沢市角間町
新学術創成研究機構 教授 児玉 昭雄（炭素循環・エネルギー・プロセスユニットリーダー）
Tel: 076-264-6472 E-mail: akodama@se.kanazawa-u.ac.jp

16. その他：
- (1) 就業規則に関する規程については、下記 URL をご覧ください。
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>
 - (2) 金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上と、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育に取り組んでいます。下記 URL をご覧ください。
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/sgu/kusgu/project.html>
 - (3) 本学は、「男女共同参画社会基本法」および「金沢大学ダイバーシティ推進宣言」の理念と方針に則り、多様性、公正性、包摂性の実践と促進を推進しています。人事選考における女性研究者や外国人研究者の積極的な応募を歓迎いたします。（本学のダイバーシティ環境推進に関する取り組みについては <https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp> を参照ください。）
 - (4) 適任者がいない場合、採用を見送ることがあります。